

# 馬神昭和新田遺跡発掘調査説明資料

公益財団法人 山形県埋蔵文化財センター 令和7年7月21日(月)

調査要項	
遺跡名	馬神昭和新田遺跡(遺跡番号323-053)
所在地	山形県西村郡朝日町馬神地内
時代・種別	縄文時代(集落跡)
起因事業	交通安全道路事業 主要地方道長井大江線 大谷工区
調査依頼者	山形県村山総合支庁建設部西村山道路計画課
調査機関	公益財団法人山形県埋蔵文化財センター
調査指導	山形県観光文化スポーツ部県民文化芸術振興課
調査協力	朝日町教育委員会
現地調査	令和7年5月8日から8月8日まで
調査面積	730m <sup>2</sup>
調査担当者	専門調査研究員 大場正善(現場責任者) 調査研究員 三浦一樹 調査員 大村暖奈
検出遺構	土坑 ピット 遺物包含層
出土遺物	土偶 縄文土器 石器



図1 遺跡位置図(1/25,000)

## 1 調査の概要

今回の調査は、主要地方道長井大江線大谷工区に伴った発掘になります。調査区は、試掘調査で遺物の出土が確認された範囲を行いました。

調査は、重機で遺物が出土する1万年以降に堆積したと考えられる黒ボク土層(Ⅲ層)の上面まで掘り下げたのち、黒ボク土層からIV~V層上面まで、人力で遺物の出土を確認しながら掘り下げていきました。発見された遺物の中の特徴的なものについては、写真や測量をして記録を行いました。

黒ボク土層の下のIV層上面では、縄文時代に掘れられたと考えられる土坑3基、ピット32基の遺構が検出されました。検出された遺構は、丁寧に掘り下げ、写真撮影や三次元計測をして記録作業を行いました。調

査区北半部からは、谷状の窪地跡が検出されました。

## 2 見つかった遺構と遺物

縄文時代に堆積した黒ボク土であるⅢ層からは、上面において縄文時代晩期(約2500年前)に相当する深鉢形土器などが発見されました。また、Ⅲ層の中位からは、縄文時代中期(約4500年前)に相当する浅鉢形土器や深鉢形土器、それから舟形町西ノ前遺跡から発見された国宝『縄文の女神』と類似した形状の土偶の破片が発見されました。土偶の破片は、下腹部から背中の部分で、腹部に渦巻状?の文様やヘその孔が認められます。背中には、深い縦の溝が認められます。

このほか、珪質頁岩製の石匙(ナイフ)や棒状のヘラ形石器(ノミや皮なめし具)、磨製石斧などの石器資料が発見されました。

石匙などの珪質頁岩製石器は大型品が多く、近隣の最上川や五百川渓谷といった珪質頁岩の原産地に近いことを考えると、石器の材料となる珪質頁岩が遺跡の近くで採取されたことを物語っています。

これらの遺物は、調査区の北半部を中心に出土していることが確認されました。

遺構については、多くはないものの、複数の土坑やピットが検出されました。土坑のSK2では、土坑の埋土中に縄文土器とともに、石器を製作した際に生じる製作屑である、珪質頁岩製の剥片やチップが密集していました。

ピットについては、建物などの柱穴の可能性がありますが、建物として組み合うものはありません。杭や柵などの可能性がありますが、これらのピットの性格については、いまのところ不明です。

窪地跡は、調査地が耕作地になる前に大谷盆地内に残された旧地形の痕跡です。最上川が大谷地区内に流入し、水が引いた際に形成されたと考えられます。少なくとも、縄文時代中期より以前に形成された地形と言えます。残念ながら、今回の調査では遺物は発見されませんでしたが、現在の地表面よりも地下に古い地形が残されていることがわかりました。

なお、調査区の北側は、近年に掘られた大きな穴(カクラン)や木が倒れた倒木痕が数か所認められました。

## 3まとめ

今回の調査では、遺物包含層であるⅢ層の黒ボク土層から、縄文時代晩期と中期の遺物が多数出土することを確認しました。とくに、縄文時代中期に相当する舟形町の国宝土偶と類似する土偶の発見は、町内初の発見となります(町内の上郷松原地区のヒデリ田遺跡で、縄文時代中期とされる板状土偶が1点発見されています)。また、大型の石器については、材料となる珪質頁岩が豊富に取れる地域の特色を示していると思われます。

遺構については、数が少ないですが、この地での過去の生活の様子を垣間見ることが出来ました。遺物が調査区の北半部に多く出土することから、遺跡の中心部が今回の調査区よりも北方に存在している可能性があります。

今後、今回の調査区より北側を調査することによって、縄文時代以降、大谷の集落で生活していたヒトびとの暮らしが、さらに明らかになっていくことが予想されます。



写真1 調査区全景(西から)



写真2 SK2・3の堆積状況（南から）



写真3 石匙の出土状況（北から）



写真6 土偶の出土状況（南から）

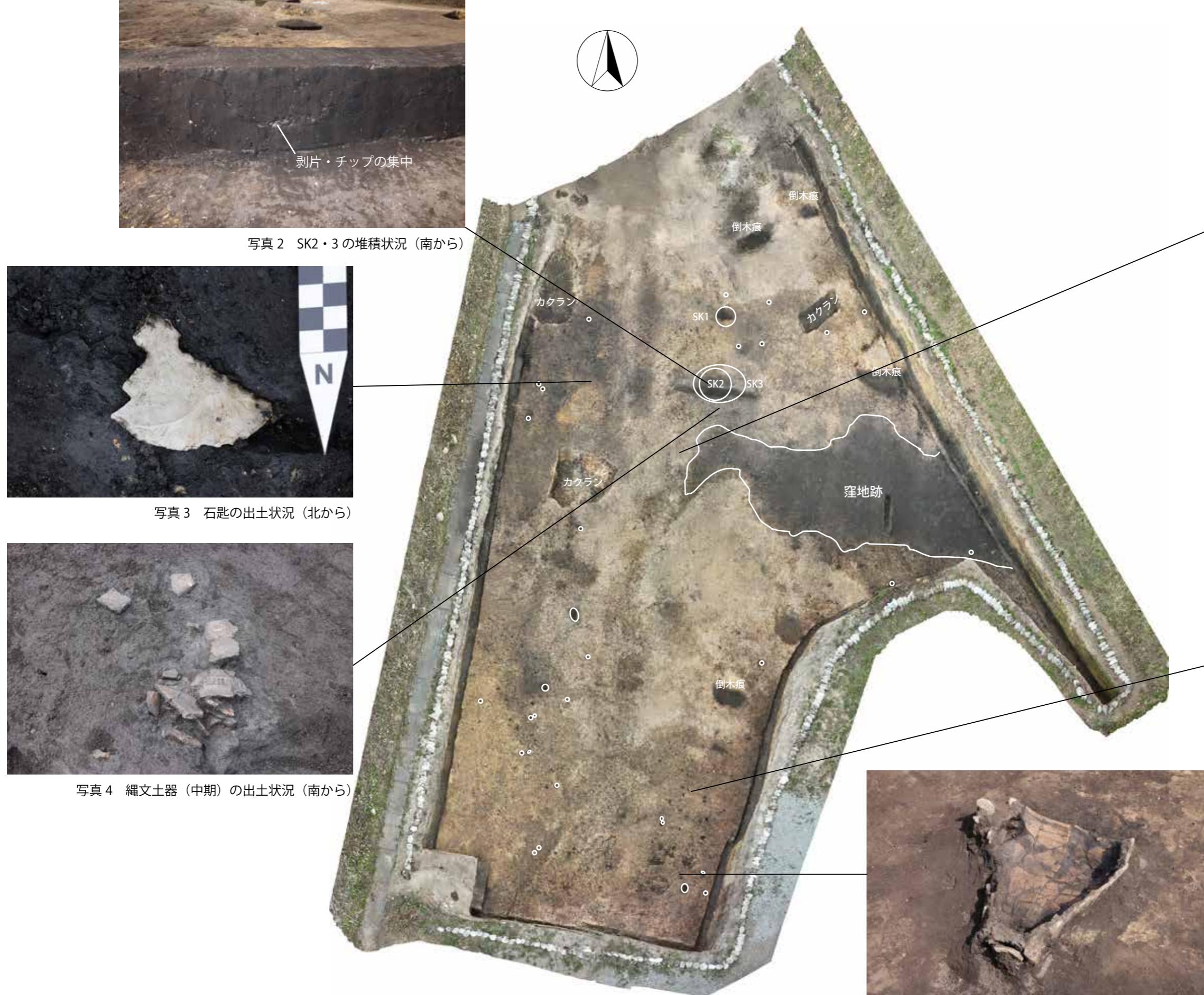


写真7 写真6の土偶の表面



写真4 繩文土器（中期）の出土状況（南から）



写真8 磨製石斧出土状況（西から）

図2 調査区のオルソ画像（縮尺：1/200）



写真5 繩文土器（晩期）状況（北西から）